

## エキシデンサー皮下注 100mg ペン エキシデンサー皮下注 100mg シリンジ

### 【この薬は？】

販売名	エキシデンサー皮下注 100mg ペン EXDENSUR solution for s.c. injection	エキシデンサー皮下注 100mg シリンジ EXDENSUR solution for s.c. injection
一般名	デペモキマブ（遺伝子組換え） Depemokimab (Genetical Recombination)	
含有量 (1 ペン/シリンジ 中)	100mg	100mg

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、26 週間隔投与のヒト化抗インターロイキン（IL）-5 モノクローナル抗体製剤と呼ばれる注射薬です。
- ・この薬は、IL-5 に対して特異的に結合し、IL-5 の好酸球増殖作用を抑制することで、症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

**気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る）**

- ・高用量の吸入ステロイド薬とその他の長期管理薬を併用しても喘息が悪化し、全身性ステロイド薬の投与等が必要な人に使用されます。
- ・喘息の悪化を抑制する効果に関連する血中好酸球数の値を考慮した上で、この薬を使用するかを選択が行われます。
- ・この薬は、喘息の発作を速やかに鎮める薬ではありません。

**鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎（既存治療で効果不十分な患者に限る）**

- ・この薬は全身性ステロイド薬や手術等では症状のコントロールが不十分な人に使用されます。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にエキシデンサーに含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・蠕虫（ぜんちゅう）類に感染している人
  - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
  - ・授乳中の人
- この薬は一部の寄生虫（蠕虫）感染に対する免疫応答に関わっている可能性がある血中好酸球数を減少させます。蠕虫類に感染している人は、この薬を使用する前に蠕虫類の感染に対する治療が行われます。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

### ●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

#### 【気管支喘息の場合】

- ・通常、成人および12歳以上の小児に、1回100mg（ペン1本またはシリンジ1本）を26週ごとに注射します。

#### 【鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の場合】

- ・通常、成人に、1回100mg（ペン1本またはシリンジ1本）を26週ごとに注射します。
- ・この薬は、通常、使い始めてから26週までには効果が得られますが、26週までに効果が得られない場合には、使用が中止されることがあります。

### ●どのように使用するか？

- ・皮下に注射します。
- ・注射部位は、上腕部、大腿部または腹部です。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・長期ステロイド療法を受けている患者さんは、この薬の使用開始後にステロイド薬を急に中止しないでください。ステロイド薬を減量する必要がある場合には、医師の管理のもとで徐々に行われます。
- ・この薬の使用開始後に喘息症状がコントロール不良であったり、悪化した場合は受診してください。
- ・この薬の使用によって他の好酸球関連疾患（好酸球が病態に関連する疾患で、気管支喘息、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎を含む）の症状が変化する可能性があり、他の好酸球関連疾患に対する適切な治療を怠った場合、症状が急激に悪化し、喘息などでは死亡に至る可能性もあります。この薬の使用だけでなく、使用を中止したあとも、医師の指示なく、他の好酸球関連疾患に対する治療内容を変更しないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき
口や喉	喉のかゆみ
胸部	息苦しい、動悸
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

## 【この薬の形は？】

販売名	エキシデンサー皮下注 100mg ペン	エキシデンサー皮下注 100mg シリンジ
形状		
性状	無色～黄色又は褐色の澄明～乳白光を呈する液	

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	デペモキマブ（遺伝子組換え）
添加剤	L-ヒスチジン塩酸塩水和物、L-ヒスチジン、トレハロース水和物、L-アルギニン塩酸塩、エデト酸ナトリウム水和物、ポリソルベート80

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：

グラクソ・スミスクライン株式会社 (<https://jp.gsk.com>)

メディカル・インフォメーション

電話：0120-561-007

受付時間：9時～17時45分（土、日、祝日および当社休業日を除く）